

園児数を公立私立ともに同率で減少させる案

肯定的意見

・共存するためには、公立私立とも同じように減らしていくのがいい
 ・私立の園児数を485人で固定した場合、公立の定員が減りすぎて公立3園が維持できるのか？将来的に公立3園が負の遺産にならないだろうか？そう考えると公立私立とも同じ率で減る案がいい。

否定的意見

・私立を選ぶ保護者が多いのであれば、私立の定員は守っておくべきだと思う。私立は努力をするが、公立はそこまで努力をしない状況で運営しているのではないか。努力しているかどうかは保護者が判断し、それが私立の人気に現れてきている。
 ・園児数の推移は、私立の園児数を考慮したうえで考える必要がある。

2025年予測の私立の園児数合計485人を維持する案

肯定的意見

(意見なし)

否定的意見

・私立485人の場合、職員が減ってくると受け入れできないのでは。
 ・私立の485人を維持すると競争力がなくなるのではないか？公平だろうか？企業努力がなくても維持されているというのはどうか？と思う。
 ・私立の園児数を維持することにより公立の園児数が少なくなり、園児数が100人を下回る施設というのは、建設費用等の初期投資やランニングコストを考えたときに、費用対効果としていかがなものか？と感じる。
 ・3園案で竜川現状考慮案は、2050年にB園C園の園児数見込みが30人というのは少なすぎる、現実的ではない。
 ・2園その他案で竜川現状考慮案は、2050年にB園の園児数見込みが60人というのは少ないのでは。200人規模の園を造ったのに、20年後には60人の園児しかいないのは合理性に欠ける。

園児の減少率を公立>私立とする案

肯定的意見

・園児の減少率は、公立>私立とするのがいいのでは。2園その他案(2050年の私立園児数予測431人)であれば、私立の経営を圧迫しない。

否定的意見

(意見なし)

グループワーク① 子どもの減少と公私の影響

その他の意見

- ・どこを選ぶのは保護者なので、（保護者目線で考えるべきであり）人数にとらわれてはいけないのではないか。
 - ・私立に適正規模の人数を出してもらわないと分からない。
 - ・保育士不足からすると、職員配置を考えた施設規模の設定が必要。また、職員の負担を考えると、園児数が分散される3園案が選択肢になる。
 - ・私立の経営を圧迫しないようなバランスが大事ではないか。受け入れ可能数も含め、私立として損益分岐点がどこになるのか検討が必要。
 - ・2園その他案の場合、1園あたりの規模が大きく、職員の業務負担を均一にするなどの管理が大変だと思う。しかし、立地のバランスはとりやすい。
- 3園案の場合、配置によっては施設が重なる可能性がある。
- ・現在、竜川幼稚園と竜川保育所に通っている子ども、これから竜川幼稚園と竜川保育所に通いたい子どもを受け入れることができる規模が必要。
 - ・各園の園児数予測をたてるにあたり、どのあたりが損益分岐点となるのか見えづらい。

3園案

メリット・肯定的意見

- ・保護者は、保育の内容、近さ、通勤の利便性などで選んでいる。
- ・3園の方が保護者の選択肢が多くていい。
- ・保護者目線では送迎の面で3園案が望ましい。
- ・保育士不足からすると、職員配置を考えた施設規模の設定が必要。また、職員の負担を考えると、園児数が分散される3園案が選択肢になる。

デメリット・否定的意見

- ・新たな用地買収が困難、また、私立に影響があるのでは？
- ・負の遺産が、将来、子どもに残ると思うと3園はどうか疑問。
- ・3園分の建設費用と維持管理費の負担が大きい。
- ・費用を考えると3園建てるのはきついのではないかと。工法も木造よりRCであろう。RCで3園建てたとしたら、50年後、どうなっているだろうか。
- ・3園案の場合、配置によっては施設が重なる可能性がある。

3園案（竜川現状考慮案）

メリット・肯定的意見

- ・現在、竜川幼稚園と竜川保育所に通っている子ども、これから竜川幼稚園と竜川保育所に通いたい子どもを受け入れることができる規模が必要。

デメリット・否定的意見

- ・2050年にB園C園の園児数見込みが30人というのは少なすぎる、現実的ではない。
- ・園児数が100人を下回る施設というのは、建設費用等の初期投資やランニングコストを考えたときに、費用対効果としていかなものか？と感じる。

3園案（平準化案）

メリット・肯定的意見

(意見なし)

デメリット・否定的意見

(意見なし)

グループワーク② こども園配置案のメリット・デメリット

その他の意見

- ・数十年後を考えると2園が適当と考えるが、以前、先生方の意見では100人規模の園がいいという意見があった（その意見を考えると3園になる）。
- ・私立保育園の需要を確認しない事には、進まない。民間を圧迫しないことも必要。
- ・新しい公立こども園ができた時、保護者の流れはようになるだろうか？私立の教育を求めているのか、新しい施設を求めているのか？私立の需要が新しい公立こども園に流れるのだろうか？試しに1園できると流れがつかめるのでは？
- ・善通寺市の保護者は公立、私立の別で保育所を選んでいるのだろうか？通勤場所の都合によって決めているのではないか？
- ・木造は耐震面など、デメリットの方が大きい。
- ・構造部材は統一したほうがいい（RC造など）。構造が異なる施設が混在するとそれ自体も保護者の選択材料となり、希望施設を決めづらくなる。
- ・園児数の推移は現在の予測よりも減少率は高くなるのではないかと思う。
- ・将来的な園児数をシビアに見据えて施設規模の設定をするのがいいのではないか。
- ・今を考えると3園がよく、2050年を見据えると2園がいい。3園のうち、1園を木造で建設し、将来的に2園でよくなった時に木造の1園を除却するのはどうか。

2園その他案

メリット・肯定的意見

- ・ 2園その他案のメリットは建設費用を抑えられること。
- ・ 整備のコスト、維持費が抑えられる。
- ・ 立地のバランスがいい。3園だと施設がかたまる可能性がある。
- ・ 2園の場合に送迎が遠くなる問題があげられていたが、公立2択で選択するわけではなく私立も点在しているため大きな影響はないのでは。

デメリット・否定的意見

- ・ 2園その他案のデメリットは送迎が不便。
- ・ 2園その他案の場合、1園あたりの規模が大きく、職員の業務負担を均一にするなどの管理が大変だと思う。

2園その他案（竜川現状考慮案）

メリット・肯定的意見

- ・ 現在、竜川幼稚園と竜川保育所に通っている子ども、これから竜川幼稚園と竜川保育所に通いたい子どもを受け入れることができる規模が必要。

デメリット・否定的意見

- ・ 2園その他案で竜川現状考慮案は、2050年にB園の園児数見込みが60人というのは少ないのでは。200人規模の園を造ったのに、20年後には60人の園児しかいないのは合理性に欠ける。

2園その他案（平準化案）

メリット・肯定的意見

(意見なし)

デメリット・否定的意見

(意見なし)

その他の意見（主に「2園目の配置」についての意見が多数）

- ・ 令和2年のコンパクトシティ計画の中に竜川も筆岡も含まれていない。そう考えると中央（丸山）地区に2園目を造る案はコンパクトシティの考え方にも合致する（竜川・中央の2園案）。
- ・ 竜川にまず1園を建設するのであれば、もう一園は対極に建設しなければいけない。（竜川・中央の2園案）
- ・ もう1園を中央地区に建設するというのが妥当（竜川・中央の2園案）
- ・ 2園目が中央では私立を圧迫するのではないか。
- ・ 丸山地区に建てると場所的には、現在の善通寺保育所、中央幼、西部幼をカバーすることになる、と考えると、私立を圧迫しないのではないか？（竜川・中央の2園案）
- ・ 私立施設との距離を考えた場合、2園その他案の2園目は筆岡地区がいいのではないか。（竜川・筆岡の2園案）
- ・ 用地確保の問題や小学校の再編も関連してくるので、こども園だけで考えて決定していいのかどうか迷うところがある。

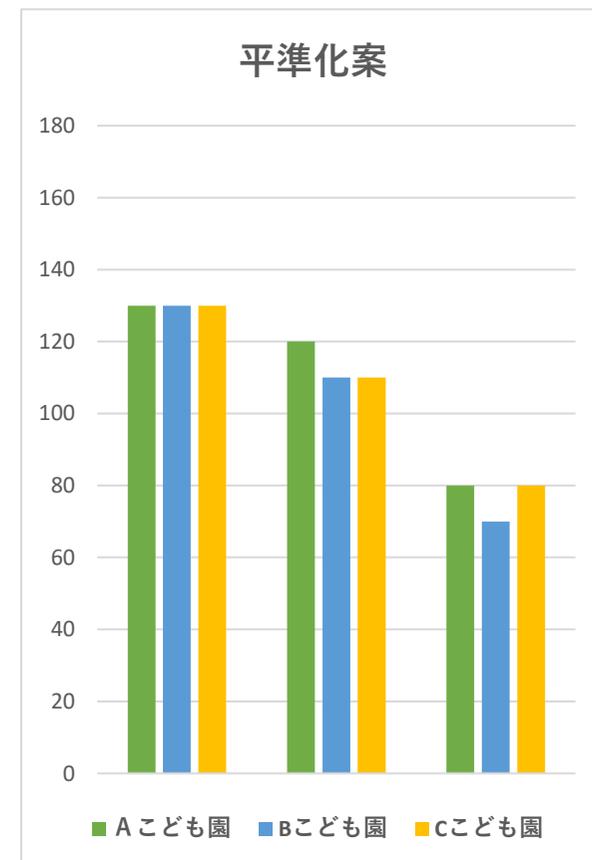
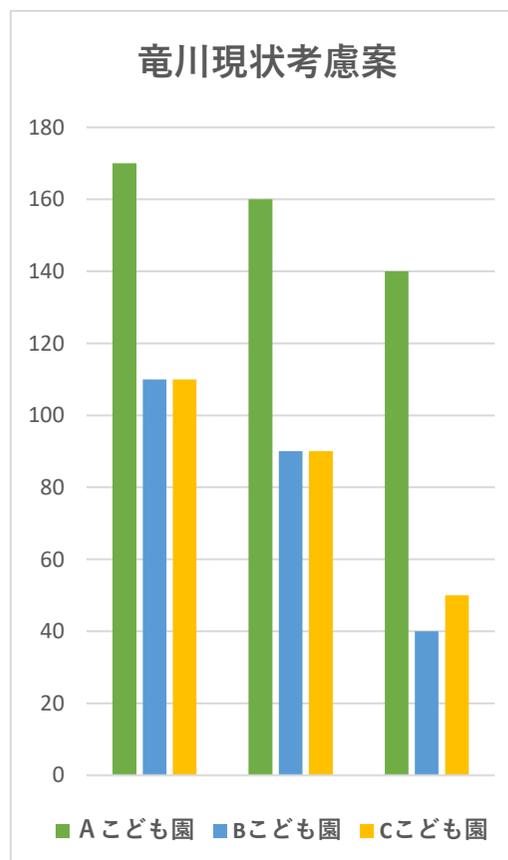
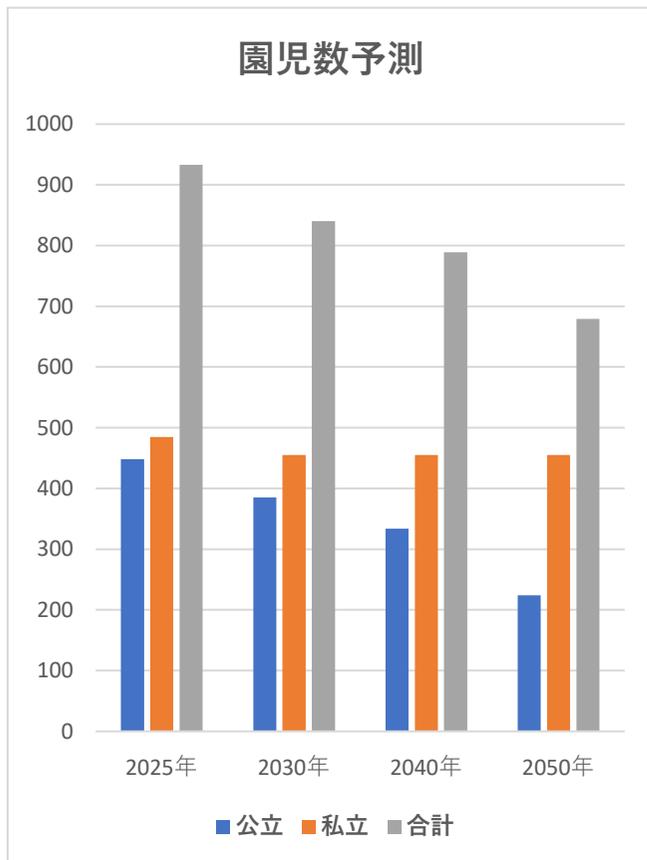
3園案を採用した場合の園児数予測

(単位：人)

資料2-1

	園児数予測			竜川現状考慮案			平準化案		
	公立	私立	合計	Aこども園	Bこども園	Cこども園	Aこども園	Bこども園	Cこども園
2025年	448	485	933						
2030年	385	455	840	170	110	110	130	130	130
2040年	334	455	789	160	90	90	120	110	110
2050年	224	455	679	140	40	50	80	70	80

※私立の園児数予測は、私立施設に聞取りした数値。



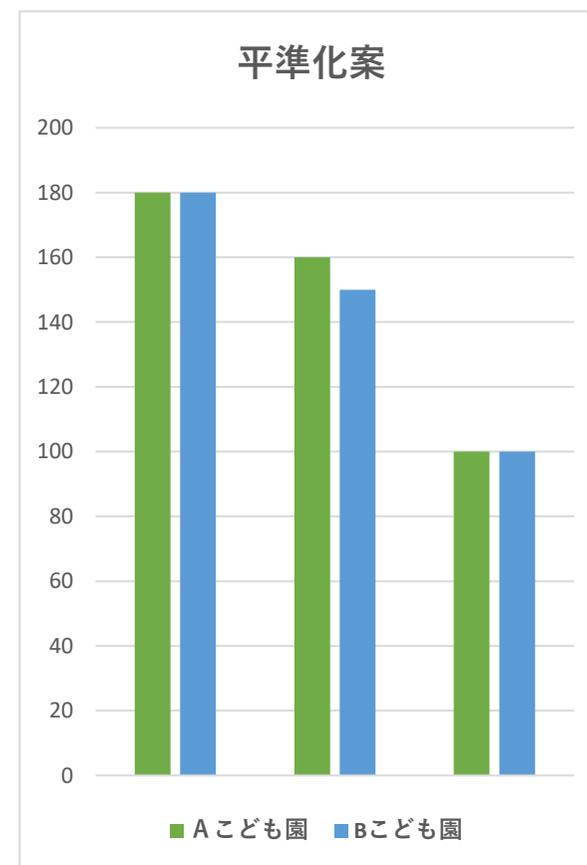
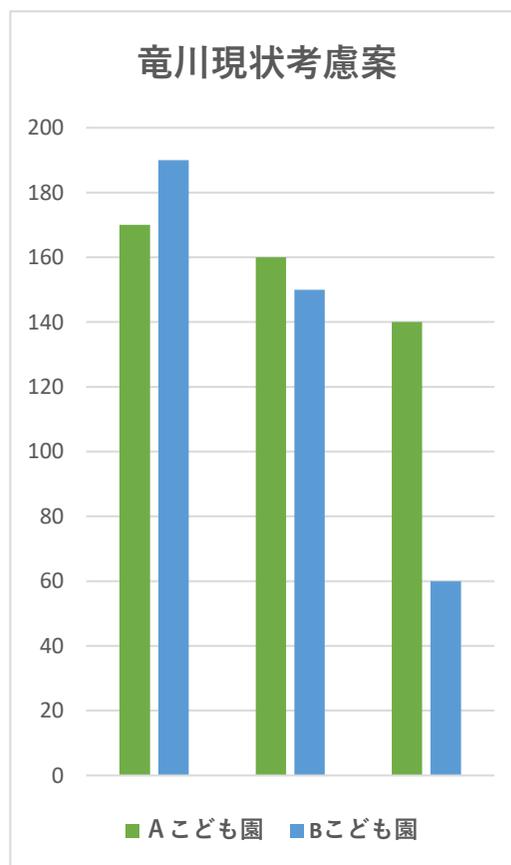
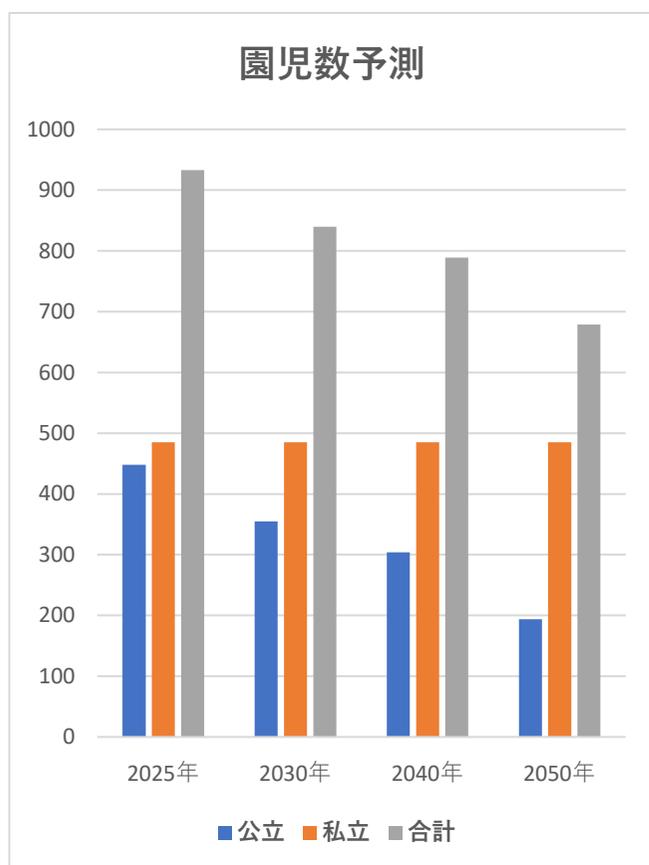
2園その他案を採用した場合の園児数予測

(単位：人)

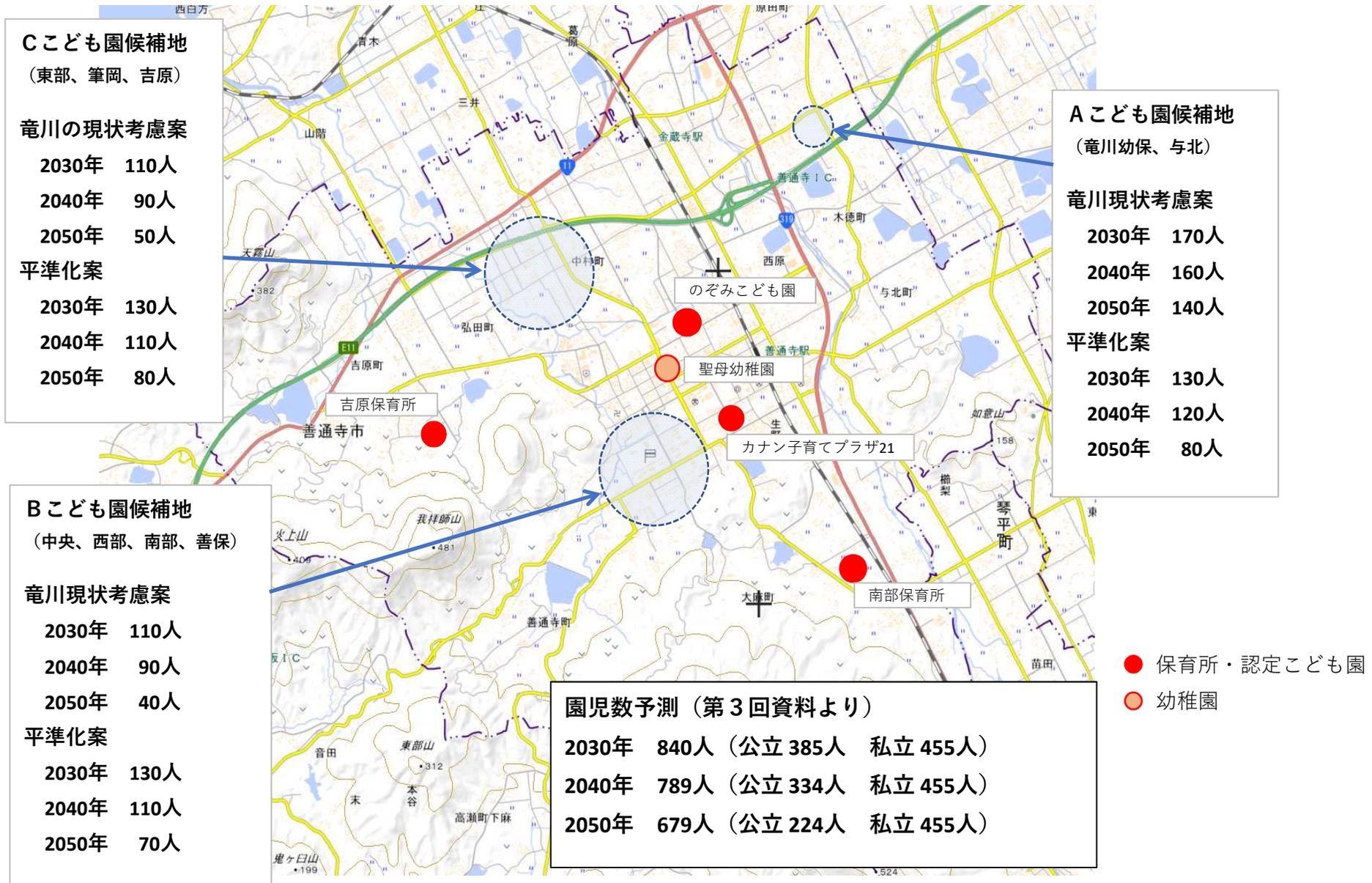
資料2-2

	園児数予測			竜川現状考慮案			平準化案		
	公立	私立	合計	Aこども園	Bこども園		Aこども園	Bこども園	
2025年	448	485	933						
2030年	355	485	840	170	190		180	180	
2040年	304	485	789	160	150		160	150	
2050年	194	485	679	140	60		100	100	

※私立の園児数予測は、私立施設に聞取りした数値に50人を加算し、485人で頭打ちした数値。

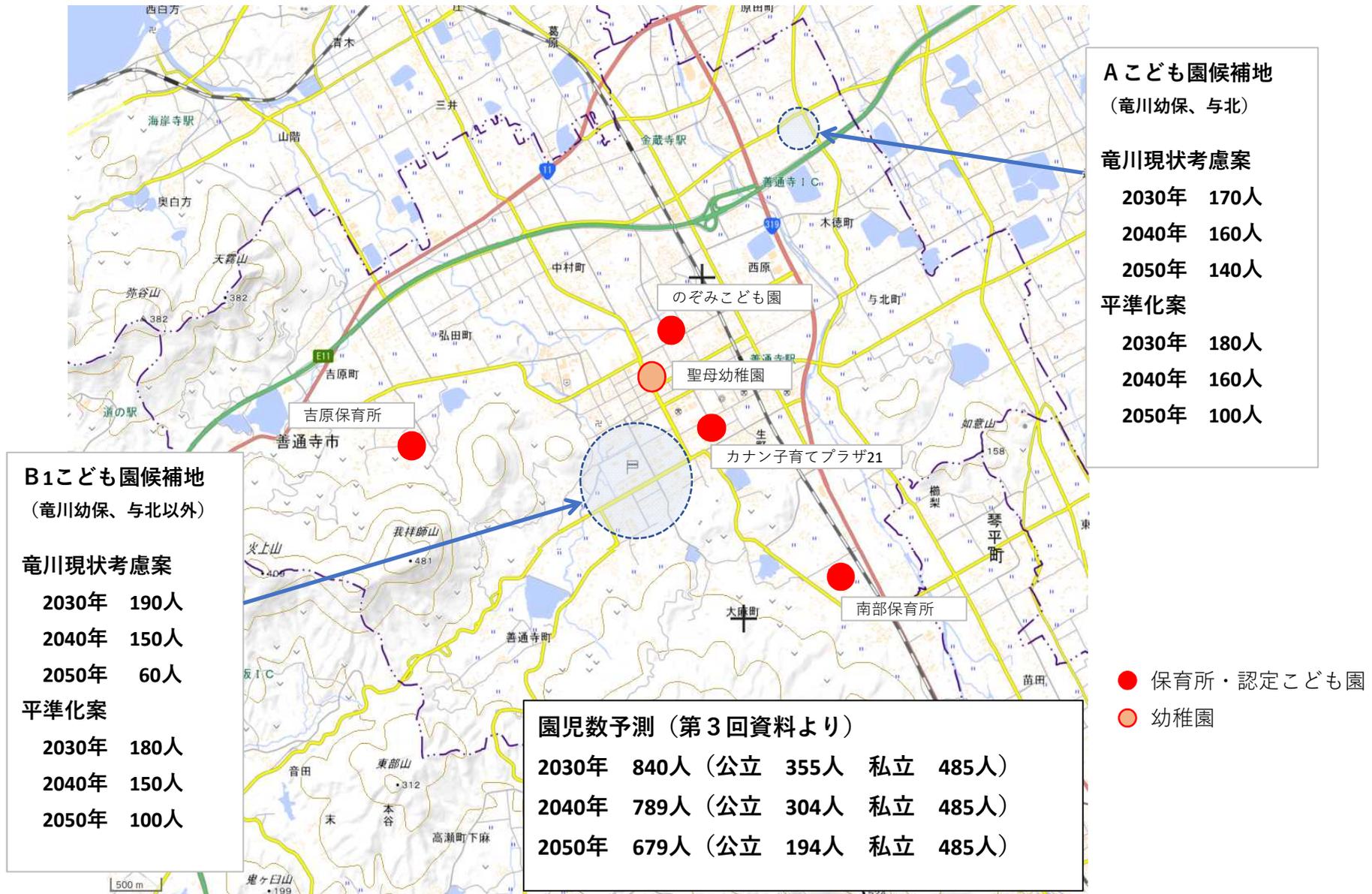


公立認定こども園の配置案（3園案）



※この地図は国土地理院地図を一部加工したものです。

公立認定こども園の配置案（2園+私立案①）



※この地図は国土地理院地図を一部加工したものです。

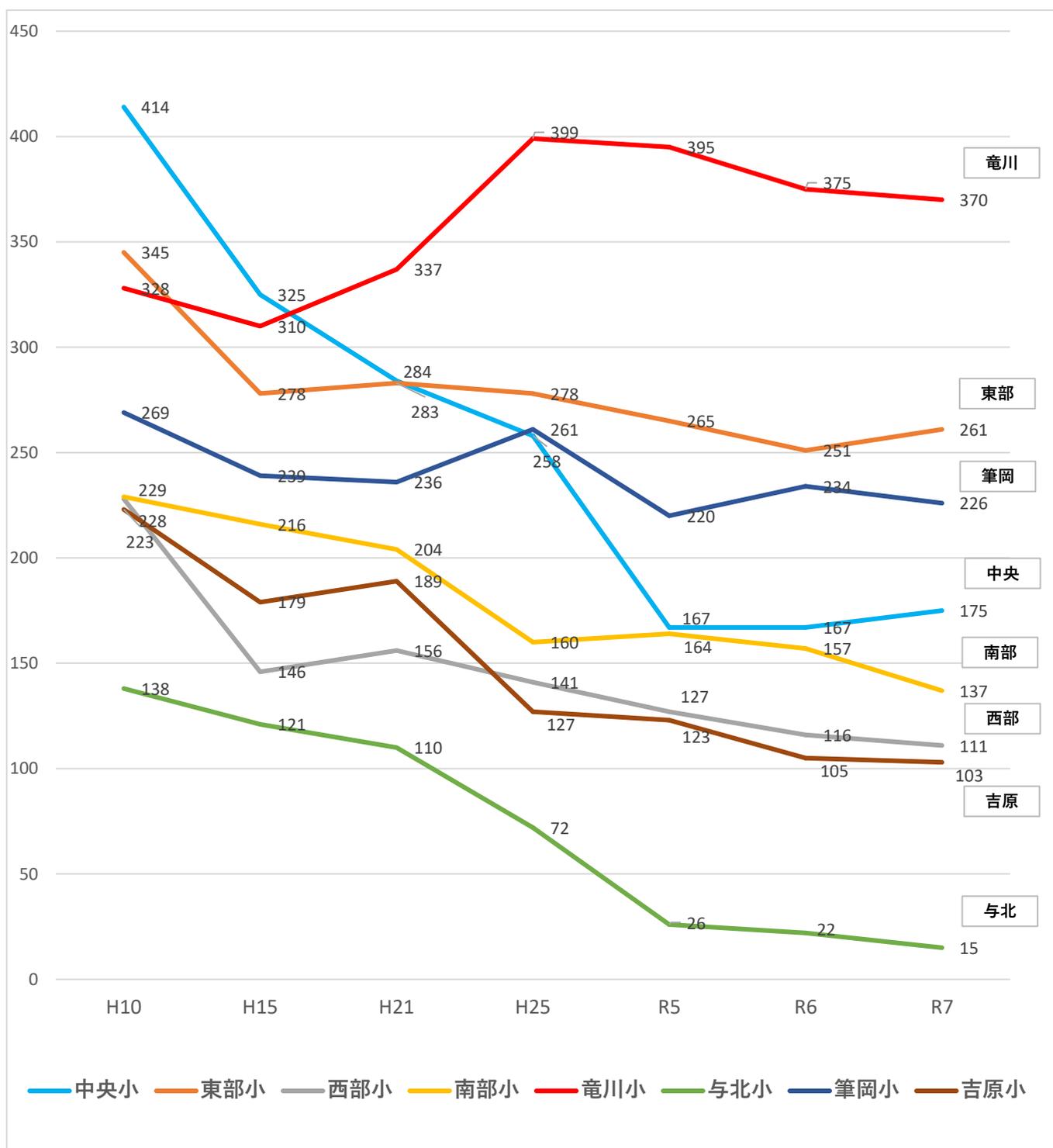
市立小学校 児童数の推移

資料4-1

各年度5月1日の人数

(単位：人)

学校名	H10	H15	H21	H25	R5	R6	R7
中央小	414	325	284	258	167	167	175
東部小	345	278	283	278	265	251	261
西部小	228	146	156	141	127	116	111
南部小	229	216	204	160	164	157	137
竜川小	328	310	337	399	395	375	370
与北小	138	121	110	72	26	22	15
筆岡小	269	239	236	261	220	234	226
吉原小	223	179	189	127	123	105	103
合計	2,174	1,814	1,799	1,696	1,487	1,427	1,398



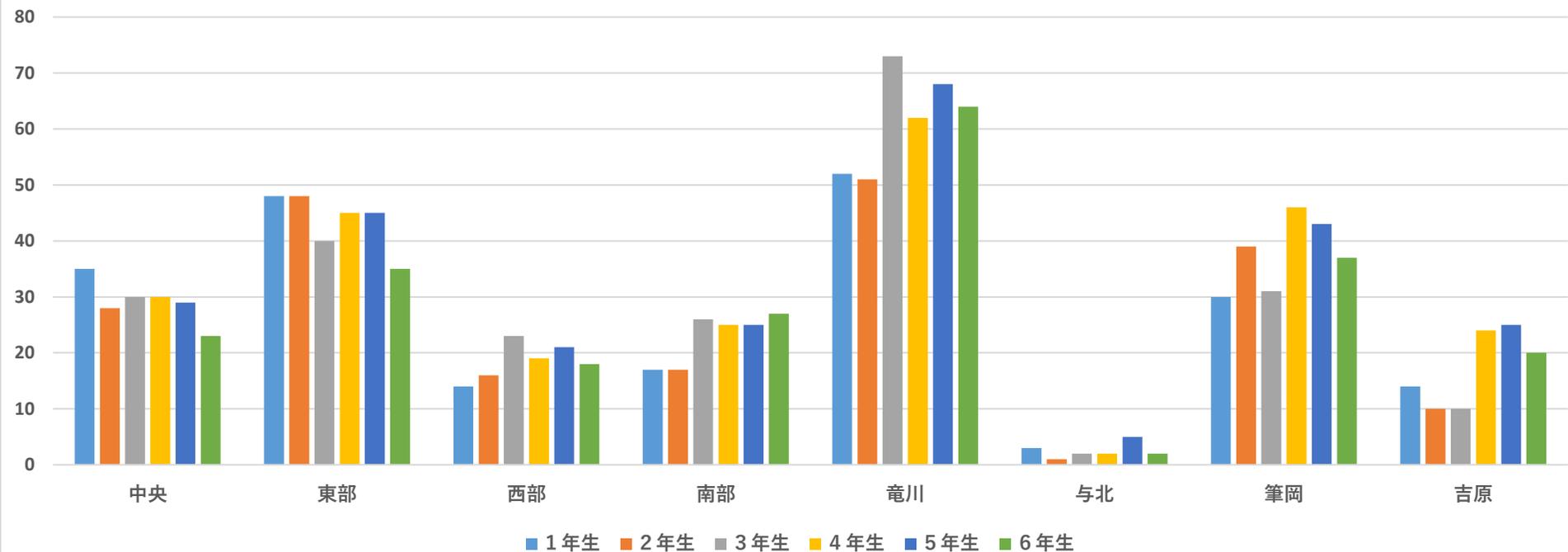
令和7年5月1日現在の児童・学級数（小学校）

資料4-2

（単位：人、クラス）

	中央		東部		西部		南部		竜川		与北		筆岡		吉原	
	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数
1年生	35	1	48	2	14	1	17	1	52	2	3	1	30	1	14	1
2年生	28	1	48	2	16	1	17	1	51	2	1	1	39	2	10	1
3年生	30	1	40	2	23	1	26	1	73	3	2	0	31	1	10	1
4年生	30	1	45	2	19	1	25	1	62	2	2	1	46	2	24	1
5年生	29	1	45	2	21	1	25	1	68	2	5	1	43	2	25	1
6年生	23	1	35	2	18	1	27	1	64	2	2	1	37	1	20	1
合計	175	6	261	12	111	6	137	6	370	13	15	5	226	9	103	6
特支	内10	4	内11	3	内4	2	内7	2	内13	3	内3	2	内7	2	内8	2

令和7年5月1日現在の児童数（小学校）



令和7年5月1日現在の生徒・学級数（中学校）と生徒数の推移

(単位：人、クラス)

	東中		西中	
	人数	学級数	人数	学級数
1年生	130	4	91	3
2年生	122	4	103	3
3年生	136	4	102	3
合計	388	12	296	9
特支	内18	4	内11	5

(単位：人)

	H22	H25	H30	R5	R7
中学校合計	756	793	700	707	684

